

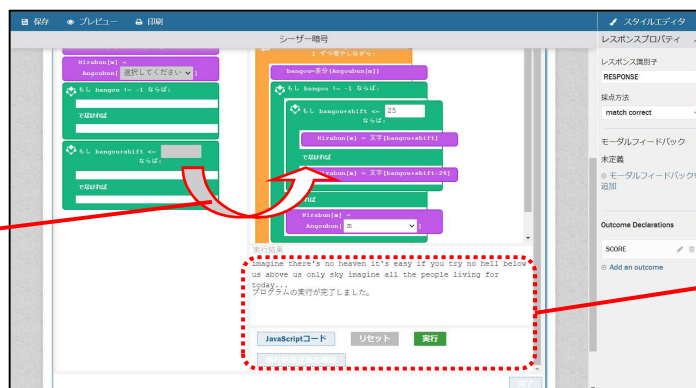
大学入試センターでは、CBT での「情報 I」の出題に関する調査研究の中で、PCIについても調査研究し、「情報 I」の問題をCBTプラットフォーム「TAO」などで出題できるよう、以下の3種類のモジュールを開発した (<https://github.com/rdncuee>において公開。)

*PCI : TAOなど QTI (Question & Test Interoperability)規格に準拠したCBTシステムにおいて情報技術を活用する試験問題や独自形式の試験問題を導入するための取り決め。

①プログラミング問題PCIモジュール

指定した内容のプログラムを「短冊」の並び替えにより構築させるといった問題形式によりプログラミング問題を出題する。

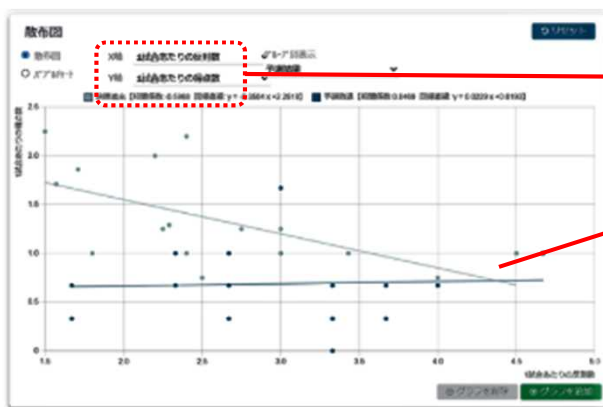
ドラッグ・アンド・ドロップで短冊を並び替えて解答する。



プログラム実行エリアで作成したプログラムを実行し、結果を確認することもできる。

②散布図PCIモジュール

TAO の解答画面で散布図を作成し、その散布図、回帰直線及び相関係数等を基に試験問題に解答させる。



受験者が散布図の縦・横項目を選択する。

作成した散布図の回帰直線や相関係数等を表示させることもできる。

③クロス集計PCIモジュール

TAO の解答画面でクロス集計を行い、その集計結果を基に試験問題に解答させる。

受験者がクロス集計表の縦・横項目を選び、集計する項目や演算を選択する。

月	時間	晴れ	曇	雨	合計
01月	09時	6.59	5.82	0.00	6.66
	15時	6.59	10.41	7.35	10.15
	21時	5.95	7.63	0.00	6.69
02月	09時	7.06	6.30	0.00	7.79
	15時	11.08	9.77	0.00	11.33
	21時	5.73	9.27	0.00	7.08
12月	09時	9.47	11.42	0.00	10.19
	15時	12.87	0.00	11.90	11.71
	21時	7.78	10.75	0.00	9.01
合計		8.62	9.74	0.00	9.14



クロス集計した結果をグラフ化することもできる。

(注) 今回公表するPCIモジュールは大学入試センターが実施した調査研究の成果物であり、確実な動作を保証するものではありません。